

# 豊明市行政評価制度「施策」評価票

施策評価票番号

48

## 1 施策の概要

1-1 施策の名称	広域連携			基本施策コード	6 1 1
1-2 担当	部	市民部	課 又は施設	市民協働課	評価票作成者 市民協働課長 浜島吉孝
1-3 総合計画における施策の体系	節	計画推進「効率的で顧客志向の行政運営」			
	項	広域連携			
1-4 施策の目的	豊明市と友好自治体豊根村・上松町との間で住民及び職員の交流を深め相互理解を図る。職員においては行政環境の異なる地域の実情を学ぶことにより豊明市の行政に活かし、又住民交流は友好自治体内の観光資源の有効活用を促し友好自治体の産業に寄与する。				

	平成22年度評価 (前期の成果)	平成27年度評価 (全期間の成果)
担当課評価	A	
総合評価	A	

### 施策評価の判定基準

- A : 施策の目的を効果的に達成しているため継続する
- B : 施策推進の実施手法等に改善の必要がある

1-5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名	前期(平成18年度～平成22年度)			全期間(平成23年度～平成27年度)			指標の定義
		目標値(単位)	実績値(単位)	達成率(%)	目標値(単位)	実績値(単位)	達成率(%)	
	友好自治体への訪問者の数(延べ人数)	3,000(人)	7,022(人)	234.1(%)	4,000(人)			本市の友好自治体である豊根村・上松町に何人の人が訪れ相手自治体を体験しているか。より多くの人が訪れることにより交流も理解も深まる。

## 2 施策の担当課による評価結果

評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方	施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度	市民レベルでの活発な交流をより一層図る必要がある。	既存の事業の他に市民交流事業として平成19年度に上松町植林事業を実施するが、交流基本計画を策定しそれに基づく事業実施をしたい。	豊根村との間で新しく職員交流事業を始めることができたので、今後に繋げたい。
平成19年度	〃	既存の事業の他に交流基本計画を策定し、それに基づく事業実施をしたい。	昨年に引き続き豊根村との間で職員交流事業ができた。又、上松町との間で市民植林事業を実施できた。
平成20年度	〃	既存の交流事業を含め、経済情勢が悪化している現在、より安価な交流プランを策定し、事業実施をしたい。	今年度も豊根村との間で職員交流事業ができた。又、上松町との間で昨年に引き続き市民植林事業を実施でき、上松町の夏祭りに市内の市民団体が市を代表して参加し、市民レベルの交流が図れた。
平成21年度	〃	〃	豊根村との間で職員交流事業を今年度も実施、また豊根村制120周年記念事業において市民交流ができ、上松町においても夏まつりや森林保全事業を実施して市民レベルの交流を図ることができた。
平成22年度	市民レベルでの活発な交流を図るため、上松町では森林保全事業を引き続き実施、また上松町の夏祭りに市民活動団体が参加して交流を深めた。さらに上松町、豊根村から大脇の梯子獅子の見学と豊明秋まつりの物産の販売など交流を深めている。今後も森林保全事業を実施し、豊明の地域の団体(老人クラブ・スポーツ団体)など新たな市民交流を活発にする後押しを考えていきたい。また、豊根村の温泉施設の利用支援を引き続き行うとともに、教育委員会では、小中学生の野外活動(キャンプ)、生涯学習課においては親子キャンプを開催し豊根村の自然を体験することで交流を進めている。		
平成23年度	市民レベルでの活発な交流を図るため、上松町では森林保全事業を引き続き実施、また上松町の夏祭りに市民活動団体が参加して交流を深めた。さらに上松町、豊根村から大脇の梯子獅子の見学と豊明秋まつりの物産の販売など交流を深めている。今後も森林保全事業を実施し、豊明の地域の団体(老人クラブ・スポーツ団体)など新たな市民交流を活発にする後押しを考えていきたい。また、豊根村の温泉施設の利用支援を引き続き行うとともに、教育委員会では、小中学生の野外活動(キャンプ)、生涯学習課においては親子キャンプを開催し豊根村の自然を体験することで交流を進めている。		
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			

